NEWS RELEASE

報道・メディア関係各位

2026 年 10 月 1 日（木）

株式会社日本レースプロモーション

SUPER FORMULA『第 4 回 技術セッション』開催決定

～「サステナビリティ」をテーマに鈴鹿サーキットにて 11 月 20 日（金）開催～

国内最高峰のモータースポーツである全日本スーパーフォーミュラ選手権（以下「SUPER FORMULA」）を運営する株式会社日本レースプロモーション（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：上野 禎久、以下：JRP）は、2026 年 11 月 20 日（金）に鈴鹿サーキット（三重県鈴鹿市稲生町）で『第 4 回 技術セッション』を開催します。今回のイベントではレノボ・ジャパン合同会社、マツダ株式会社 MAZDA SPIRIT RACING、STEM RACING JAPAN が参加する基調講演も実施。イベント公式サイトではご来場者の事前登録とイベント出展に関するご連絡を受け付けています。

《イベント公式サイト》

https://superformula.net/partner-day/event/261120-tech-session/

SUPER FORMULA を運営する JRP は、過酷な環境の中で最先端の技術が投じられることから「走る実験場」と呼ばれるモータースポーツを技術革新と社会課題の解決をつなぐ“架け橋”とすることも目指しています。その具体的な活動のひとつとして、自動車関連企業や研究機関のビジネスマッチングを目的に『技術セッション』を 2025 年 7 月に初めて開催しました。

今回のテーマは「サステナビリティ」。モビリティ産業が 100 年に一度と呼ばれる大きな変革期を迎える中でひとつの大きな課題となっているカーボンニュートラルの実現に向けた、低炭素燃料や電動化、水素、エネルギーマネジメントなどの技術を持つ企業・団体が出展する展示ブースを展開するとともに、業界の第一線で活躍する専門家を招いた基調講演も行います。

今回の基調講演には、世界的な巨大国際スポーツイベント開催に不可欠な次世代 IT インフラを舞台裏から支えるレノボ・ジャパン合同会社、モータースポーツの実戦で CO_2回収技術を鍛える取り組みを進めるマツダ株式会社 MAZDA SPIRIT RACING が参加。さらに STEM RACING JAPAN からは、自分たちの手でフォーミュラカーを製作し、国際舞台に挑んだ学生たちが登壇。Recolle Team Hayate と ABLE WindBreaker は世界大会での挑戦を、Amateras Racing はタイの全国大会に国際チーム枠で参加した経験を、それぞれ学生自らがレポートします。

現在、本イベントの公式サイト（ https://superformula.net/partner-day/event/261120-tech-session/ ）にて最新情報を公開中です。ご来場登録およびご出展に関するご連絡もこちらのサイトにて受け付けておりますので、ぜひご覧ください。

《来場申込フォーム》

https://forms.gle/BEFpCLyf5ehsVjeB6

◆基調講演

団体・企業名	登壇者	テーマ	
レノボ・ジャパン 合同会社	執行役員 副社長 佐藤 久		**巨大国際スポーツイベントを支える、次世代 IT インフラの舞台裏**
マツダ株式会社 MAZDA SPIRIT RACING	ファクトリー モータースポーツ推進部 CO2 回収開発リーダー 小林 徹		**モータースポーツで鍛える CO_2 回収技術 ～カーボンネガティブへのチャレンジ～**
STEM RACING JAPAN	Recolle Team Hayate ABLE WindBreaker Amateras Racing		**学生たちの世界への挑戦 STEM RACING 世界大会 挑戦レポート**

※アルファベット順

◆開催概要

主催	株式会社日本レースプロモーション
会期	2026 年 11 月 20 日（金）11:00～16:00
テーマ	サステナビリティ
入場	無料
会場	鈴鹿サーキット ホスピタリティラウンジ
出展企業	SUPER FORMULA パートナー企業を中心に 10～20 社
来場者	社会人、研究職、商品開発職など 100 名程度

■ご参考：SUPER FORMULA『第 3 回 技術セッション＆おしごとセッション』開催レポート
～過去最多 16 社が出展、初開催の「おしごとセッション」には学生 72 名が参加～

JRP は、2026 年 7 月 17 日（金）に富士スピードウェイ（静岡県駿東郡小山町）にて『第 3 回 技術セッション＆おしごとセッション』を開催しました。

第 3 回を数える技術セッションには過去最多となる 16 の企業・団体が出展し、約 100 名が来場。テーマである「SDV（Software Defined Vehicle）」に関連した展示を行った各ブースには学生・社会人を中心とした来場者が詰めかけ、出展者と熱心にコミュニケーションを取る様子が見られました。

また、4 つのパートで行われた基調講演では毎回多くのオーディエンスが真剣なまなざしで聞き入り、セッション終了後も質問が相次ぎ、活発な討論が行われました。

さらに初開催となった「おしごとセッション」には、モータースポーツ界で働く現役社会人と直接コミュニケーションを取れる機会を求めて 72 名の学生が参加。まずは ROOKIE Racing のガレージ、続いて SUPER FORMULA のフリー走行を見学しました。その後のメインイベントである座談会では、エンジニアだけでなく広報やメディアなど様々な領域のプロフェッショナルである“先輩”たちと積極的に対話し、参加者たちは将来のキャリア形成のヒントを得ようとしていました。

◆それ以前の技術セッションの開催レポート
第 1 回（2025 年 7 月 18 日開催。参加 13 社、来場約 150 名） https://superformula.net/sf3/release/22242/
第 2 回（2025 年 11 月 21 日開催。参加 14 社、来場約 180 名） https://superformula.net/sf3/release/24180/

【報道・メディア関係者からのお問い合わせ先】
株式会社日本レースプロモーション 総合企画部 広報渉外 G TEL. 03-5801-6470 E-mail. miura@jrp-inc.net
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 3-28-5 axle 御茶ノ水 3F-304